



馬橋小だより

H.P アドレス <http://www.matsudo.ed.jp/mabasi-e/>

令和6年4月30日
松戸市立馬橋小学校
校長 中澤 智章
児童数 643名



毎日続けている人にはかなわない!



朝の貴重な時間。気持ちのエンジンをかけるまでに、しばしポ〜っとしている横で、奥さんは決められた時間内に、お弁当と朝食を用意し、洗濯機を回し、床掃除のモップまで出しながら同時進行しています。同じことが私にできるかどうか、やってみなければわかりません。キッチンに立つことは嫌いではないし、料理だって好きな方。掃除洗濯だって手伝っているし…。というわけで実践したところ…私、できませんでした。調味料の場所を探すのだって手間取るし、冷蔵庫を開けて何がどこにあるのか瞬時に分からないし、調理と洗い物を同時に行う時短のテクニックなんて知りませんでした。そう、毎日行っている妻にはかなわないのです。

毎日のように計算問題を解き続けている子ども達は、やがて暗算ができるようになってきます。もちろん、大人にとって暗算なんて朝飯前…と思いきや、実践してみると「あれ!思うように数字が浮かんでこない…」という焦りにも似た思いをすることがあります。そう、毎日続けている子どもにはかなわないのです。

日々の生活の中で、判で押したような単調とも思える時間を過ごしていることを嘆く方もいることでしょう。もしかしたら、日々の「繰り返し」とも思われるこの継続は、何よりも強い実践力となっているかもしれません。その実践力がなければ、日々の生活が基盤から崩れる可能性もあるかもしれません。毎日続けているって、実は何よりも素晴らしいことだと思うのです。

子どもの世界は、「楽しくておもしろい!」ことが大きな魅力であることは間違いないでしょう。その中に、根気強く継続する活動や、考え続けることの大切なスパイスを適宜加えていきたいと思います。新年度の学校生活に慣れてきた5月。継続した取り組みの中で着実な学力の定着を目指していきます。また、運動会では子ども達のまぶしいばかりの全力を投じた活躍があることと思います。引き続き、学校教育へのご理解・ご協力を頂けますようよろしくお願いいたします。

感じることからすべてが始まる。

登校時に「見て〜!」と小さく包み込んだ手のひらをそうっと広げて見せてくれたのは低学年の友達。そこにはタンポポの綿毛がほんわかと鎮座していました。「タンポポじいさんだよ!」とニコリ教えてくれました。なんだか嬉しくなっていました。感じることからすべての行動が始まります。「知ること」「感じること」を大切にしていきたいものです。



大笑いをした朝の正門

ランドセルをパンパンに膨らませて登校したのは高学年の友達。「いったい何を入れてきたの?」と尋ねたところ、間髪入れず、「夢と希望です!」とのこと!

いやあ、朝から最高の話題をふりまいてくれてありがとうね!



